

# 馬場ひでゆきの活動日誌

## No.20

高田の桜咲きました。この号が届く頃には満開ですね。そして、上越市議会議員選挙も4月14日告示されます。だんだんと熱気を帯びてきました。私も、各地で県政報告をしながら、橋爪さん、上野さん、ひららぎさんの応援をしています。「桜咲いた」になりますように。

### 日本共産党時局演説会

3月30日の夕方リージョンプラザで日本共産党書記局長で参議院議員の小池晃氏の演説会がありました。

小池氏は、「志賀原発を抱える能登半島地震では、長期にわたり道路が不通となった、原発事故が発生したら住民避難などできない、上越市も今回の地震で国道が不通になった、原発の再稼働など論外だ、そして、原発再稼働をさせないためにも、4月の上越市議会議員選挙には橋爪法一市議、上野公悦市議、平良木哲也市議の三名に当選してもらわなければならない」とメールを送りました。

### あれこれ教えて馬場・上野桑取のついで

3月26日の午後は、桑取地区土口の集会場で、上野公悦市議と私の報告会をしました。約30名が参加してくださいました。

私は、まず参加者の皆さんに県議会での一般質問の様子を視聴してもらいました。その後、

県議会の様子や1年間議員活動の報告をしました。上野市議も市政報告をされ、その後は参加者の皆さんと意見交換しました。少子化に



伴う学校の統廃合が議論されました。桑取・谷浜地区でも少子化が急激に進んでいる、谷浜にある小学校、中学校を何とか存続させてほしいというものです。学校は学びの場だけではなく、地域住民の文化交流の拠点でもあります。その意義を地域で話し合いをしながら確認することが必要と考えます。

### 新潟県立看護大入学式

4月4日は、新潟県立看護大学の入学式がありました。



神田清子学長は、式辞で「一人の痛みを理解することは人間の成長に繋がる」と看護の意義を伝え、映画『君たちはどう生きるか』を引用しながら、「自己発見の旅をしてみよう」と生徒の皆さんに呼びかけました。ステキなお話でした。

### 上越市二十歳を祝うついで

4月6日はいろいろな行事がたくさんありました。午前6時から、私の集落にある神社の清掃してきました。

12時からは私の法律事務所が属する大町2丁目町内会のお花見会に参加。場所は青田川沿いにある乙吉稲荷神社。ちょうど桜の花も咲き始め、天気も晴れていて最高でした。

13時30分からはリージョンプラザ上越で成人式があり、来賓

として参加しました。対象者の皆さんは1855人。そのうち1348人が参加されたこのことです。若者が会場を埋めつくして熱気がありました。

### 馬場と橋爪市議を囲む会参加

4月6日の15時30分から、吉川区赤沢で、同日17時から吉川区の河沢で、橋爪市議とともに県政市政報告会をしました。



参加者からは、労災病院は何か存続してほしいとの切実な訴えを聞きました。また、妙高病院に勤務されていた方が、同病院がスキーで負傷した人に迅速に対応できるように病院全体で頑張ってきたことを話してくださいました。

労災病院の閉院、地域医療再編は、上越市議選では最大の争点になっていいはず。病院利用者や労働者などの声を沢山集め、広がりのある運動をつくりましょう。



青田川の桜、咲きました！



# 4・4県政報告と

# 市民対話集会

4月4日、上越文化会館中ホールで「上越から政治を変えよう！4・4県政報告と市民対話集会」が「市民連合・上越」の主催で開催されました。

## ～県政報告～

第一部は、県議の土田竜吾氏、牧田正樹氏と私の3名が壇上に上がり、それぞれが1年目の議員活動を振り返り県政報告をしました。その話を受けて、会場の参加者と質疑応答。ここでは主な質問の内容と私の回答を報告します。

●知事は、「住んでよし訪れてよし」というが、県政に閉塞感が漂っているのではないか。

馬場…閉塞感があるというのはその通り。原因は二つあって、一つは借金財政。予算規模が1兆2000億円のところ、負債残高が2兆円以上あり、昨年は起債許可団体に転落しました。財政指数は都道府県ワースト2。借金返済が県政を縛り付けています。

もう一つは原発。原発のある

ところで生活するのは不安だし、「訪れてよし」と言われても、外の人だって引越して住む気持ちにもなかなかないのではないかと思えます。

●日本の資本家が原発をやめようとしなないのは核武装も考えているからではないか。原発問題についても、原発などの県政課題も反戦平和の取組と結びつけていくべきではないか。

馬場…原発と核武装化との関係はわかりませんが、防衛費の増大が、国民生活へのしわ寄せになっていきます。国政でのお金の使い方を抜本的に変えないと、日本は滅びるのではないかと本気で心配しています。

●地域医療再編が、国や県主導で行われているが、これはおかしいのではないか。

馬場…県が地域医療に責任をもっている以上、県が主導するのはやむを得ないが、住民の意見を聞きながら進めるべきです。労災病院の閉院や県の企図する地域医療の再編がいいのかどうか



## 私の推し本その9

この史代著『夕風の街 桜の国』(双葉社)

「ヒロシマ」に関わった家族が三代にわたって受けてきた筆舌し難い苦悩とそれに立ち向かう勇気とを描いた物語です。原爆のマンガといえば、私たちの世代は「はだしのゲン」。焼けただれた皮膚が原爆の悲惨さを強調していました。ただし、悲惨なのはそればかりではないのだということを、『夕風の街 桜の国』で気づかされました。

被爆したために、しばらくの間は生きていても、いつ発症し死ぬのかわからないという不安、そして生き残っては見たものの、おびたしい人たちの死を犠牲にして自分だけが生き残ってしまったことを負い目に感じ、自分だけが幸せになることはできないと思う平野皆美。

自分の親が被爆者であることを理由に、愛する人との交際をやめようとする石川凧生。凧生の姉石川七波も、原爆の後遺症で苦しんで亡くなった母や祖母の死を目の当たりにし、その思い出から逃れようと悩みます。

原爆の被害は世代を超えても続くのですが、このさんの凄惨なところは、その苦悩を抱えた人を支える勇気ある人たちのことも描き、苦悩を抱える人とそれを支える人との気持ちのやりとりを繊細に描きだします。マンガなのか小説なのかわからない。



市議選予定候補者8名が勢ぞろい。

は、市政の問題としても取り上げるべきだし、今回の市議選の最重要争点と考えます。

また、私たちの地域医療を守りたいという運動も、地元の医療関係者などと連携しながら広げていくべきではないかと思えます。

## ～市議選立候補予定者紹介～

第二部では、4月の上越市議会議員選挙の立候補予定者が紹介されました(あいうえお順)。

- 上野公悦さん
- 小林かずたかさん
- 近藤彰治さん
- 鈴木めぐみさん
- 本城文夫さん
- はしづめ法一さん
- ひららぎ哲也さん
- 山本よしひろさん

「市民連合・上越」の集会で、このように県議や市議会議員が勢ぞろいしたのはこれが初めてで、画期的なことです。候補者の皆さんは実績のある方ばかり、是非とも頑張ってください。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-bahahideyuki@wind.ocn.ne.jp